

第4回メソ気象研究会の開催のお知らせ

第4回メソ気象研究会を、札幌で行われる1992年日本気象学会秋季大会の前日に開催いたします。今回はメソ気象と雲物理の境界における問題に焦点をあてたテーマを選びました。奮ってご参加下さい。

プログラム

日時：1992年10月6日（火曜日）13:30～17:00

場所：札幌教育文化会館（気象学会会場）3階
中研修室

テーマ：「メソ現象と雲物理のはざまにて」

コンピーナー：上田 博（北大理）

一座長：佐藤晋介（北大低温研）

1. 村上正隆（気象研）：日本海降雪雲の内部構造の観測とモデルの比較

2. 松尾敬世（気象研）：日本海の雪雲と SEEDING 効果

一座長：城岡竜一（北海道農試）

3. 播磨屋敏生（北大理）：メソスケール降雪量分布にかかわる微物理過程

4. 吉崎正憲（気象研）：力学サイドから見たメソ降水系での微物理の役割

5. 高橋 劭（九大理）：雲の組織化と降水

総合討論

代表世話人 小倉義光（日本気象協会）

事務局 吉崎正憲（気象研究所）

坪木和久（東大海洋研）

IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

IGBP (International Geosphere-Biosphere Programme) のコアプロジェクト GAIM (Global Analysis, Interpretation and Modelling) に対応して、地球圏と生物圏の相互作用に関するモデリングをテーマとする研究グループが本年2月に日本学術会議に発足しました。これを受けて、第1回の研究会が、去る5月29日に気象研究所にて開かれました。第2回の研究会は、以下の通り開催します。特に、この方面の研究に今後取り組んでいきたいとお考えの方々の積極的な参加を期待しております。また、発足して間もない研究グループですので、これからの長期的な研究方針や研究計画などの検討にも参画して頂ければ有難いと考えております。

日時：1992年10月1日午後2時～2日12時30分

場所：京都大学理学部動物学教室講義室（1階）
（バス停・百万辺から徒歩5分）

話題および講演者：

1日（木）午後2時～5時30分

- (1) 局地気候のモデル化について

木田秀次（気象庁・気象研）

- (2) 衛星画像による世界の植生と地球温暖化による植生変化の解析

藤原一絵（横浜国大・環境科学センター）

- (3) 陸面水文過程が大気大循環に与える影響

佐藤信夫（気象庁・予報部）

2日（金）午前9時～12時30分

- (4) 材木個体サイズ分布をベースにした森林動態の機能的モデル

甲山隆司（京大・生態系研究センター）

- (5) 温室効果気体の変動と循環

中沢高清（東北大・大気海洋変動研究センター）

- (6) 海洋における生物地球化学的サイクルのモデリングと古気候変動

田中 浩（名大・水圏科学研）

<注：1日の夜には、懇親会（4,000円程度）を予定しています。>

参加資格：所属、学会などの制限なし。参加費無料。

参加申込み：参加希望者は、なるべく京大生態系研究センターにお申し込み下さい。センターへの連絡は、電話 0775-78-0580

Fax. 0775-79-8457.

問い合わせ先：及川武久（筑波大・生物科学系、電話および Fax 共通 0298-53-6661）または 木田秀次（気象研究所、電話 0298-51-7111, Fax. 0298-55-7240）